

公立幼稚園及び公立保育園の今後の方向性

1 これまでの経過

平成 24 年 10 月、平塚市幼保一元化に関する検討会が中間報告を取りまとめた。

・公立園のあり方

公立園 15 園（公立幼稚園 5 園、公立保育園 10 園）を 8～10 園に再編する。

公立幼稚園 廃園や統合による認定こども園化が可能か検討する。

公立保育園 保育園待機児童対策を担う観点から、当面の間、廃園や統合を検討しない。公設公営としての 10 園体制を維持することを前提とせず、民営化（公立園としては廃園）を推進する。

・モデルケースの整備

幼保一元化を推進するためのモデルケースの必要性

モデルケースの実施エリア

2 現状

(1) (仮称) 港地区認定こども園の整備

- ・港幼稚園と須賀保育園を統合して認定こども園を設置
- ・平成 29 年 4 月の開設に向けて、港幼稚園敷地に現在建設中
- ・定員 幼稚園部分 40 人（港幼稚園定員から 10 人減）
 保育所部分 110 人（須賀保育園定員から 20 人増）

(2) 金田保育園の民営化

- ・平成 28 年 3 月 31 日廃止
- ・平成 28 年 4 月 1 日 サンキッズ金田ほいくえん開設
- ・定員 130 人（金田保育園定員から 20 人増）

3 今後の方向性

(1) (仮称) 吉沢認定こども園の整備

- ・土屋幼稚園、吉沢保育園を統合し、認定こども園を吉沢公民館敷地に整備
- ・老朽化や耐震補強対策、効率的な施設管理
- ・定員 幼稚園部分 土屋幼稚園の児童充足率を考慮
 保育所部分 保育所の入所希望者状況

(2) 花水台地区における子育て支援強化

- ・花水台保育園施設の老朽化や耐震補強対策が必要
- ・民間資本による整備

(3) 公立幼稚園の検討

- ・さくら幼稚園、ひばり幼稚園、金目幼稚園